



2021年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月11日

上場会社名 株式会社電算システムホールディングス

上場取引所 東名

コード番号 4072 URL <https://ds-hd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 靖哲

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 宇佐美 隆

TEL 058-279-3456

四半期報告書提出予定日 2021年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	36,147		2,034		2,099		1,278	
2020年12月期第3四半期								

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 1,466百万円 (%) 2020年12月期第3四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	118.53	
2020年12月期第3四半期		

(注) 当社は2021年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績はありません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	52,026	17,001	32.3
2020年12月期			

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 16,811百万円 2020年12月期 百万円

(注) 当社は2021年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前年実績はありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期					
2021年12月期					
2021年12月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は2021年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績及び当第2四半期までの実績はありません。
2021年12月期(予想)期末1株当たり配当金20円00銭の内訳は、普通配当15円00銭、記念配当5円00銭であります。

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000		2,850		2,920		1,945		180.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は2021年7月1日に単独株式移転により設立されたため、対前期増減率はあります。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期3Q	10,784,932 株	2020年12月期	株
期末自己株式数	2021年12月期3Q	49 株	2020年12月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期3Q	10,784,939 株	2020年12月期3Q	株

(注)当社は2021年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当第3四半期連結累計期間(2021年1月1日から2021年9月30日まで)の四半期連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となった株式会社電算システムの四半期連結財務諸表を引き継いで作成しております。
- 当四半期連結会計期間(2021年7月1日から2021年9月30日まで)は、当社設立後最初の四半期連結会計期間ですが、「第3四半期連結会計期間」として記載しております。

(金額の表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、当第3四半期連結累計期間より金額の表示単位を千円単位から百万円単位に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2021年7月1日に単独株式移転により株式会社電算システム（以下「電算システム」といいます。）の完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、前年同四半期と比較を行っている項目については、電算システムの2020年12月期第3四半期累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）と、また、前事業年度末と比較を行っている項目については、電算システムの2020年12月期事業年度末（2020年12月31日）と比較しております。

また、当第3四半期連結累計期間（2021年1月1日から2021年9月30日まで）の四半期連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となった株式会社電算システムの四半期連結財務諸表を引き継いで作成しております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染の影響による経済活動の抑制により、依然として先行きは不透明な状況となっております。このような経営環境において当社グループは、「共創」で新たな価値を創造し、社会に貢献することを経営理念のもと、さらなる業容の拡大と成長を志向し、継続的な営業努力と効率的な事業運営に努め、経営計画の達成を目指してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は361億47百万円（前年同期比6.7%増）、利益においては、営業利益は20億34百万円（前年同期比12.4%減）、経常利益は20億99百万円（前年同期比12.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億78百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

（情報サービス事業）

情報処理サービスにおいては、エネルギー業界向け処理サービス、請求書作成代行サービスなどにより売上が増加しております。一方、S I ・ソフト開発及び商品製品販売においては、前期に比べオートオークション業務システム案件が減少したものの、GIGAスクール関連やChromebookやGoogle Workspace、セキュリティ機器販売が大きく伸びております。なお、当第3四半期よりネットワークセキュリティ技術会社である株式会社マイクロリサーチを新たに連結の範囲に含めております。

以上の結果、情報サービス事業の売上高は214億90百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は14億4百万円（前年同期比19.2%減）となりました。

（収納代行サービス事業）

収納代行サービス事業においては、主力のコンビニ収納の件数は新型コロナウイルス流行の一時収束の兆しが見え始めたことから、既存取引先の収納件数に変化が出始めました。国際送金部門においては、単月黒字化傾向は継続しております。DSK後払いは、契約企業の本格稼働開始までには時間を要しているものの、契約先数、取り扱い件数とも徐々に増加してきております。又、新サービス投入も予定通りに進捗しております。全体としては、売上の伸び支えとなる地方公共団体を含む新規先の獲得状況は順調に推移しております。

以上の結果、収納代行サービス事業の売上高は146億57百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は6億78百万円（前年同期比20.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して40億41百万円増加し、520億26百万円となりました。これは主に現金及び預金が24億26百万円、受取手形及び売掛金が4億23百万円減少したものの、金銭の信託が55億63百万円、のれんが6億97百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して28億78百万円増加し、350億25百万円となりました。これは主にその他流動負債が9億25百万円、未払法人税等が5億10百万円減少したものの、収納代行預り金30億44百万円、前受金が6億44百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して11億63百万円増加し、170億1百万円となりました。これは主に利益剰余金が9億76百万円、その他有価証券評価差額金が1億88百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年7月1日の「2021年12月期通期の連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」において公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間
(2021年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	10,717
金銭の信託	21,934
受取手形及び売掛金	6,813
商品及び製品	367
仕掛品	1,116
前払費用	2,242
その他	479
貸倒引当金	△10
流動資産合計	43,660
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	1,584
土地	791
その他（純額）	677
有形固定資産合計	3,053
無形固定資産	
のれん	1,585
顧客関連資産	672
ソフトウェア	299
ソフトウェア仮勘定	170
その他	0
無形固定資産合計	2,727
投資その他の資産	
投資有価証券	1,990
繰延税金資産	151
差入保証金	390
その他	54
貸倒引当金	△0
投資その他の資産合計	2,585
固定資産合計	8,366
資産合計	52,026

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間
(2021年9月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	3,665
短期借入金	100
1年内償還予定の社債	17
1年内返済予定の長期借入金	409
未払法人税等	269
前受金	2,833
収納代行預り金	24,111
賞与引当金	475
役員賞与引当金	27
株主優待引当金	3
その他	1,232
流動負債合計	33,143
固定負債	
社債	36
長期借入金	727
繰延税金負債	221
役員退職慰労引当金	482
退職給付に係る負債	83
資産除去債務	24
その他	306
固定負債合計	1,881
負債合計	35,025
純資産の部	
株主資本	
資本金	2,469
資本剰余金	2,656
利益剰余金	11,583
自己株式	△0
株主資本合計	16,709
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	102
その他の包括利益累計額合計	102
非支配株主持分	189
純資産合計	17,001
負債純資産合計	52,026

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	36,147
売上原価	29,693
売上総利益	6,453
販売費及び一般管理費	4,419
営業利益	2,034
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	11
助成金収入	5
投資事業組合運用益	19
デリバティブ評価益	34
その他	22
営業外収益合計	95
営業外費用	
支払利息	4
支払手数料	23
持分法による投資損失	2
為替差損	0
その他	0
営業外費用合計	30
経常利益	2,099
特別損失	
減損損失	30
投資有価証券評価損	67
特別損失合計	98
税金等調整前四半期純利益	2,001
法人税、住民税及び事業税	737
法人税等調整額	△14
法人税等合計	723
四半期純利益	1,278
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,278

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	
四半期純利益	1,278
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	188
その他の包括利益合計	188
四半期包括利益	1,466
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,466
非支配株主に係る四半期包括利益	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報サービス 事業	収納代行サー ビス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,490	14,657	36,147	—	36,147
セグメント間の内部売上 高又は振替高	14	0	15	△15	—
計	21,505	14,657	36,162	△15	36,147
セグメント利益	1,404	678	2,082	△48	2,034

(注) 1. セグメント利益の調整額△48百万円は報告セグメントが負担する管理部門費の配賦差額であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「情報サービス事業」セグメントにおいて、当社連結子会社で当初想定していた収益を見込めなくなったため、ソフトウェアの減損損失30百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「情報サービス事業」セグメントにおいて、株式会社マイクロリサーチの発行済株式の全てを取得したため、連結の範囲に含めております。なお、当事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において8億円であります。